

2024Wcamp 1 4月8日(月)から11日(木) 小屋開け 薪割り 清掃

4月8日9時、山荘に向けて松田の家を9時に出発今年度最初のワークキャンプ。佐久市内の「つるや」で買い出しして、山荘には14時18分着(19.8km) 今年3月に大雪が続いたので、小屋開けが10日ほど遅れました。一日目は移動だけで、閉鎖中に雪や風で倒れた樹木や破損した場所が無いか確認。ハウスにシートをかけた薪置き場が雪のために半分つぶれていた。まだ雪が残っているので次回解体することにする。薪置き場を移動させてこの場所に、野外作業場を作ると、素敵な作業場になりそうだ。

16時から薪ストーブを焚いて、食品と衣類などの整理、室内の清掃作業。

冷え切っていたログハウスも薪ストーブで暖められてきた。今夜は早めに食事して、ゆっくり休むことにしよう。

21時就寝



4月9日(火) 5時起床 あめ 外気温10℃ 室内20℃

雨が降っているので、気温は高めで屋外での作業はできないだろう。朝食はほうじ茶とヨーグルト。

午前中はホールの清掃、暇なので大リーグの試合をテレビで観戦！大谷のホームラン！最高



午後から雨はやんで、山荘は霧の中。場内を回って唐松の「球果（まつぼっくり）」を集める。

油分が多く含まれているので、薪ストーブの焚きつけに最適です。燃えているところもきれいでまるで真っ赤なバラのようです。



午後から薪割りと薪運び。東側の薪置き場は3年前に伐採した丸太が積んであり、含水率は9.8%良く燃えそうです。

ログハウスの薪棚に積みきれなくなった薪は、ログハウスの北側に整理して保管しました。



15時に作業終了して、「一万里温泉」へ、リフレッシュと買い出し。そして、佐久市役所林務課で「森林環境贈与税」について意見交換。今年から国民1人千円の人頭税が徴税されていますが、その使い道については各自治体に任されていて、「グリーンウッドワーク」の講習会を佐久で開催したく、その資金を教育として使う提案をしました。担当職員は企画についてとても良いが、今年度の資金は使ってしまったので、来年に向けて検討したいとのことでした。

少しは望みがあるかもしれません。

天気は上向きになり、晴れてきたので今夜は冷えそうです。

4月10日（水） はれ 外気温マイナス3℃ 室内11℃ 6時起床

今日はかなり寒く、寝袋からでるのが辛い、直ぐに薪ストーブを焚いて暖まる。

朝食はほうじ茶3杯、ヨーグルト。

寒いけど7時から薪割りをして体を温める。1時間ほどでリヤカー3台分の薪割り。

9時ごろに尾方さん到着、ログハウスのポンプを設置。



作業は午前中で終了。

足踏みろくろを作った材料の残りで、チョッピングブロック（背の高い）を作成。材料は桧の太鼓落とし材で横型、立って作業できるように高さ900mm-1000mm。

4月11日(木) 外気温0℃ 室内 10℃ はれ 6時起床

朝食はいつもの通り、ほうじ茶・ヨーグルト、今朝も冷え込んでいます。

チョッピングブロックづくり、丸鋸で切れ目を入れて、斧でブロックを落とすように削る。
ノミで仕上げをして、チョッピングブロックの台ができあり。あとは脚を入れる穴を開けて完成



ローバーコース（研修所）で使用していた百合の紋章が入った盾を南側の壁に設置、何となく宗教団体のような感じもするが、収まりがよい。



ノーマンロックウェルの「TOMORROE'S LEADER」これは山中野営場に飾られていた佐久間さんの所有物をいただきました。

4日間のワークキャンプを終了して、12日から福島の「クラフトハウス」で木工の研修に参加します。4月の山荘はまだ冬の気候でした。

